

提案大学	筑波大学
連携大学	茨城大学、お茶の水女子大学、高エネルギー加速器研究機構

筑波大学 専門人材と広域研究基盤連携を核とした「新しい発見を生む研究基盤」形成プロジェクト

連携大学：茨城大学、お茶の水女子大学、高エネルギー加速器研究機構(KEK) + 8 参画機関



戦略と施策：『3つの循環』と『循環を支える柱』

人材定着・高度化サイクル

専門人材が定着し活躍

- リサーチエンジニア(RE)・キャリアコンバージョン
教員・URA・技術職員・企業人材を相互転換
- 技術職員・REの人材育成
総合技術室／TCカレッジ・希少技能の組織知化

研究時間回復サイクル

研究に専念できる支援

- 素粒子から個体までのワンストップ支援
研究課題からAIで最適な装置・人材へ到達
- フルサービス化の実装
測定～解析を専門人材が一括・自動化／遠隔化

産業接続サイクル

試作～社会実装へ

- ITF.F を核とした魅力的な場の形成
Prototype-in-ITF.F:企業常駐で共同開発



アウトプット・アウトカム

当初3年(令和10年度)

- 700台↑** 共用化機器
- 3,000名↑** 利用登録者
- 2.2億円/年↑** 利用料収入
- 50報/年↑** トップジャーナル論文
- 5名↑** リサーチエンジニア(RE)配置

循環を支える柱

- 広域コアファシリティ運営委員会
ハブ&スポーク型ガバナンス
- 広域設備マスタープラン
広域での戦略的機器配備とマルチコア化
- SXプラットフォーム
リース・共同導入で最新機器を確保
- データ駆動・AI基盤
人工知能科学センターと連携し再利用可能な知識基盤を構築
- 財務・制度改革による自律的運営
利用料・共同研究収入を設備・人材へ再投資

10年後(令和17年度)の到達

- フルサービス支援 500件/年
- RE 15名以上
- 広域共同運用機器 100台
- AI基盤マッチング 1,000件
- 事業化 5件・スタートアップ 3社創出

